

One Control TIGER LILY TREMOLO

User Guide ユーザーガイド

CONGRATULATIONS ON YOUR PURCHASE!!!

このたびは、ワンコントロール、タイガーリリートレモロをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機の性能を十分に発揮するため、

また誤使用による不具合を防ぐためにこの説明書をよく読んでお使い下さい。



35年後のトレモロ。

真の改善とは、改善し続けること。

後の B.JF こと Bjorn のストーリーは 1981 年に始まります。

その年に彼は初めてのオリジナルエフェクターの販売をスタートしています。

(驚くべきことに彼はその後 35 年もの年月をエフェクター制作に捧げ、
数々の歴史的傑作ペダルを今も作りつづけています。)

約 35 年前に歴史が始まったエフェクター、それはトレモロでした。
彼の初心に触れる旅が終わったとき、私たちは一つのエフェクターを
完成させることができました。

改善とは何か。

彼はいまだ自分の感覚の棘を信じ、より高みを目指そうとしています。
私たちにとっての未到達の風景はいったいどんな眺めなのでしょう？
まだ見ぬ風景を求め私たちは今日も歩き出します。

1981年に私の作ったペダルを初めて販売したのだが、それがトレモロだった。そしてそれは初めてギタリストのために作ったエフェクトだった。そのギタリストは今でもそのトレモロを持っているよ。

トレモロはいろいろなスタイルの音楽で使用されている。有名なマシンガンのような派手な効果だけでなく、バックでゆっくりと音を揺らしたり、偽エコーのような使い方をするプレイヤーも知っている。

TIGER LILY TREMOLO (TLTn)は、私が作った最初のトレモロを元にモディファイを施したバージョンだ。電池でペダルを使うのが当たり前だった時代の設計を受け継いでいるので、TLTnは消費電流も少ない。ミニペダルで電池駆動ができるOne Controlにも最適だ。

つまり、TLTnには非常に満足している。

——Bjorn Juhl

One Control TIGER LILY TREMOLO

User Guide ユーザーガイド
CONGRATULATIONS ON YOUR PURCHASE!!!

このたびは、ワンコントロール、タイガーリリートレモロをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機の性能を十分に発揮するため、
また誤使用による不具合を防ぐためにこの説明書をよく読んでお使い下さい。

トレモロというエフェクトは、音量が上下するだけで面白さが無い。サーフミュージックとマシンガン専用エフェクト。極端かも知れませんが、トレモロエフェクトについてのイメージといえばこのようなものではないでしょうか。
トレモロエフェクトは、激しくうねりを加えたりフィードバックがかかるようなモジュレーション系エフェクトと比べると、シンプルな構造のエフェクトであることは確かです。

トレモロエフェクトの基本的な構造は、入力された信号の音量を LFO で生成した波形に合わせて上下させるものです。その構造を生真面目にコンパクトエフェクターとして作ると、“面白さの無い”トレモロエフェクトが完成します。

最初期のチューブアンプに搭載されたトレモロエフェクトは、アンプの構造そのものに依存する形でトレモロエフェクトを生成していました。特に、いわゆる“トレモロエフェクト”としての形を完成させたパワーチューブトレモロの構造は、音量を LFO に合わせて上下させるという大きな形は変わりませんが、“音量を上下させる”ためにチューブパワーアンプのバイアス電流を変えていました。

その結果、ヴァンテージチューブアンプのトレモロエフェクトにはなんとも言えない味わいが生まれます。無機質に音量が上下するだけの“生真面目な”トレモロエフェクトとは全く違うサウンドになります。そのサウンドは美しく、ヴァンテージアンプのトレモロエフェクトを手放せないギタリストは世界中にたくさんいます。

One Control TIGER LILY TREMOLO は、初期のチューブパワーアンプを利用するトレモロエフェクトのサウンドを再現しながら、現代的でクリアな、高解像度のトーンを両立させたトレモロエフェクトです。

多くの“生真面目な”トレモロエフェクトは、音量を綺麗に上下させたり、より激しいトレモロエフェクトをかけるために、LFO を三角波(トライアングル)や矩形波(スクエア)に設定してしまいます。
ヴァンテージトレモロエフェクト特有の“ジェントル”な響きは、正弦波でなければ生まれません。TIGER LILY TREMOLO の LFO は、かつてのヴァンテージアンプに使用されたものと同様、正弦波を生成します。
TIGER LILY TREMOLO の、浅くかければ緩やかに滑らかなトレモロエフェクトを作り、深くかけてもプレイを妨害しないという独特の質感も、この LFO の働きが大きいです。

もちろん、ただ LFO を正弦波に設定すれば即座にヴァンテージトーンが得られるわけではありません。三角波や四角波と比べ、正弦波を自在に制御するのは難しいためです。それが“ソフトなトレモロ”で終わるのか“極上のヴァンテージトレモロ”の領域にまで立ち入るのか、そこがまさにセンスの見せ所です。
TIGER LILY TREMOLO は、BJF のセンスと耳を駆使したチューニングが施されています。まるで 1 つ 1 つの揺れが生きているような、有機的で生々しいトレモロサウンドです。
そして、AMPLITUDE ノブにより、その波形をさらに細かくコントロール可能。AMPLITUDE ノブを低く設定すれば全く揺れを無くすることもできます。この時、軽いプーストと共にほんの少しだけ暖かな音色を作ることができます。AMPLITUDE を上げていくと、連続的なトレモロからより激しいトレモロサウンドへと変わります。
AMPLITUDE ノブと DEPTH ノブの設定と組み合わせることで様々なトレモロサウンドを作ることができます。

TIGER LILY TREMOLO はヴァンテージトレモロエフェクトを再現していますが、何から何までを完全再現したわけではありません。例えばヴァンテージチューブパワーアンプを使用するトレモロは基本的に正弦波のトレモロエフェクトですが、ドライバーが飽和すると四角波に近づきます。
それは間違いなくヴァンテージトレモロならではの味わいの 1 つですが、同時に扱いにくい部分とも言えます。

TIGER LILY TREMOLO は広いダイナミクスレンジとヘッドルームの高さにより、常に正弦波のトレモロを維持します。このことが、ヴァンテージトレモロエフェクトのサウンドを再現しながら、同時に現代的な高い解像感を両立させています。
現代のアンプ、現代のスタジオ機器の高い音質の中で浮いてしまうことも無く、同時に他のトレモロペダルには無い存在感も両立させる。BJF の感性が生み出したトーンです。
現代のシーンで積極的に使うことはもちろん、今の機材を使っているサーフミュージックにも最適です。
そして、TIGER LILY TREMOLO は様々なスタイルのギター、ベース、そしてアンプに対応し、即座に TIGER LILY TREMOLO ならではのトレモロトーンを作ることができるのも、この広いダイナミクスレンジと高いヘッドルームによるものです。
この汎用性の高さは、歪みと組み合わせた時にも発揮されます。TIGER LILY TREMOLO はエフェクトの接続順を気にすることなく、歪み系の前段、後段どちらにも接続可能。また、Prussian Blue Reverb と組み合わせ、リバーブの後に TIGER LILY TREMOLO を接続すれば往年のサーフミュージックサウンドが甦ります。

さらに、TIGER LILY TREMOLO は、その音質にも BJF ならではのチューニングが活かされています。クリアでありながら柔らかく、高解像度な質感。AMPLITUDE ノブを低く設定して揺れをなくせば、ソフトなトーンを作るパッファ/ブリアンプのようにもご使用いただけます。

また、TIGER LILY TREMOLO には PHASE というスイッチを搭載しています。PHASE スイッチを切り替えると、位相を反転させ、アウトプットインピーダンスを下げる事が出来ます。
基本的なエフェクトの音色はほとんど変化しませんが、エフェクトループやスタジオ機材などと組み合わせる際には重要なスイッチです。実際に音を出し、ご自身の耳で良いと感じたモードを選択してみてください。
初期設定では PHASE は OFF になっています。

●各部の名称と使い方

INPUT: ギター/ベース側のケーブルを接続します。
OUTPUT: アンプ側のケーブルを接続します。
SPEED: トレモロの揺れるスピード(RATE)をコントロールします。
DEPTH: トレモロの揺れの深さをコントロールします。
AMPLITUDE: トレモロエフェクトの波形を調整し、柔らかいトレモロ～激しいトレモロまでをコントロールします。低く設定するとトレモロをかけず、パッファのように使うことができます。
PHASE: トレモロエフェクトの位相とアウトプットインピーダンスを切替えます。初期設定は OFF です。
FOOT SWITCH: エフェクトの ON/OFF を切り替えます。OFF 時はトゥルーバイパスとなります。
DC INPUT: センターマイナスのスタンダードな 9VDC アダプターを接続します。9V の電源に対応します。
9V BATTERY: 裏面 4 角のスクリューを外し、裏蓋を開けて 006P 型 9V 電池をセットします。

●特徴

- ・ヴァンテージアンプに搭載された、最初期の正弦波トレモロサウンドを再現
- ・単に古い音を作るだけでなく、現代的な高い解像感を両立
- ・波形を微調整できる AMPLITUDE コントロール
- ・様々な機材やルーティングに合わせた PHASE モードを搭載
- ・アルミ削り出しのハイクオリティなミニサイズケース
- ・電池内蔵も可能
- ・トゥルーバイパススイッチング

●Specification

インプットインピーダンス: 180K
アウトプットインピーダンス: 10K (PHASE スイッチ ON 時は 500 Ω)
駆動電圧: 9V
消費電流: 1.5mA
S/N 比: -80dB
サイズ: 39Wx100Dx31H mm(突起含まず)
47Wx100Dx48H mm(突起含む)
重量: およそ 160 グラム(電池挿入時 200 グラム)
※電池は付属しません。